専大スポーツ

No.287

大会結果、予定は体育会ホームページ（専大ホームページ「スポーツ」からログイン）でご確認ください
専大スポーツweb（http://sensupo.web.fc2.com/）でも大会結果を配信しています

スケート・日本学生氷上競技選手権

男子スピード　総合で準優勝

チームパシュートは連覇

日本学生氷上競技選手権（氷上インカレ）が1月6日から9日まで、栃木県日光市ほかで行われ、男子スピード部門で総合準優勝を果たした。

種目別ではチームパシュートで佐山敏幸（経営4・池田高）・蓑田翔（経営3・白樺学園高）・坂井洸太（経営2・白樺学園高）組が大会記録、リンクレコードとなる4分2秒55で1位を獲得し、この種目では専大勢が連覇を果たした。

他種目の主な結果は次のとおり。【500㍍】大塚樹（経済1・吉田高）＝4位、山越竜輔（経済3・嬬恋高）＝5位【1000㍍】武井博史（経済2・上伊那農高）＝3位、坂井＝5位【1500㍍】坂井＝2位【5000㍍】蓑田＝2位、松尾駿（経済2・八戸西高）＝3位、佐山＝5位【10000㍍】蓑田＝3位、松尾＝7位、佐山＝8位【2000㍍リレー】大塚・土井優斗（経営3・白樺学園高）・木幡哲也（経済4・標茶高）・山越組＝5位

今大会、最も多くの種目で入賞した蓑田は「チームの総合準優勝に貢献できてうれしい。リンクサイドの応援が心強く、チームがひとつになったと実感した。来年は総合優勝を果たしたい」と、来期への抱負を語った。

なお、ホッケー部門は初戦で同志社大に1―3で敗れた。

（小澤　幸希乃・経営1）

※写真提供＝川口ひろし氏

▲　長距離で上位入賞した蓑田。関東学生では、大会新記録で5000㍍を制した

▲　チームパシュートメンバーの坂井。1500㍍でも２位と健闘した

スピードスケート・関東学生選手権

3年連続総合優勝　4種目で1位独占

関東学生スピードスケート選手権が1月15日から17日まで、山梨県の富士急ハイランド・セイコオーバルで行われた。専大は4種目で1位を獲得し、3年連続で総合優勝を果たした。

長距離に強い専大は5000㍍で蓑田翔が大会新記録の7分3秒61で1位、佐山敏幸が2位。蓑田は3000㍍でも1位となり、松尾駿、竹田翔平（経営1・駒大苫小牧高）とともに出場したチームパシュートでも4分6秒39の大会新記録で1位となった。

短距離陣では、1500㍍で坂井洸太が1位、500㍍で山越竜輔が2位、大塚樹が4位。2000㍍リレーでは大塚・山越・土井優斗・小林拓斗（経済1・岡谷南高）組が2位。坂井は「この調子を維持し、残り少ないシーズンも全力で頑張っていきたい」と意気込みを語った。（小澤）

くしろサッポロ氷雪国体

アイスホッケー・スピードスケート部員が活躍

国民体育大会冬季大会「くしろサッポロ氷雪国体」のスケート競技会・アイスホッケー競技会が1月27日から31日まで、釧路市の柳町スピードスケート場ほかで開催された。本学からアイスホッケー部、スピードスケート部の部員が出場。スケート競技の成年男子5000㍍で松尾駿（青森県代表）が3位入賞を果たした。同2000㍍リレーでは木幡哲也、土井優斗が神奈川県の3位に、大塚樹が山梨県の6位入賞に貢献。同1000㍍では山越竜輔（群馬県代表）が8位と健闘した。

アイスホッケー競技では小林和倫（法4・軽井沢高）、袖山佑介（法1・軽井沢高）が長野県の6位入賞に貢献した。

アメフト・カレッジボウル

専大から5人出場　中村がMIPに選出

関東学生アメリカンフットボール連盟の1部A・Bブロックの選抜選手によるオールスター戦「カレッジボウル」が1月9日、川崎球場で行われた。専大グリーンマシーンからは石川明季（法4・駒場学園高）、木村久紹（法4・平安高）、中村可沁（経営4・埼玉栄高）、松井徹（法3・崇徳高）、南部敦史（経営3・駒場学園高）の5人がBブロック選抜のメンバーとして出場。チームは敗れたが、第3クオーターでタッチダウンパスをキャッチした中村がMIPに選出された。

大相撲

中西改め「大道」が新十両

1月27日、日本相撲協会の春場所番付編成会議が開かれ、相撲部OBの中西改め大道の新十両昇進が決まった。大道（本名・中西健二さん＝平17経営）は阿武松部屋に入門し、平成17年春場所に初土俵。身長188㌢、体重162㌔。

国際大会出場選手

◇フェンシング部
谷口舜太郎（法1・鹿児島南高）ジュニアワールドカップフランス大会（2月10～16日＝フランス・ドルダン市）

記録コーナー

◇フェンシング部
▽JOCジュニア・オリンピック・カップ（1月8～11日＝駒沢オリンピック公園体育館）【男子フルーレ】土屋勇介（経済1・和歌山北高）＝8位【女子フルーレ】小田芽維（商1・高松北高）＝8位

Sports カレンダー

◇スキー部
▽全日本選手権（アルペン競技、技術系、スーパーG）3月16～23日（長野県）
▽国民体育大会冬季大会（スキー競技会）2月25～28日（札幌市）
◇スピードスケート部
▽全日本スピード選手権2月20、21日（北海道帯広市）
◇陸上競技部
▽日本学生ハーフマラソン選手権3月14日（東京都立川市）

スキー・全日本学生選手権

女子が3年連続総合3位

男子は総合6位に躍進

▲　女子大回転で優勝した小野塚

全日本学生スキー選手権（インカレ）が1月11日から17日まで、長野県の白馬村で行われた。女子は3年連続で総合3位。男子は昨年の11位から大幅に順位を上げ、総合6位となった。

個人ではアルペン種目で活躍が光った。女子は大回転で小野塚彩那（商4・湯沢高）が1位、木田江里乃（経営4・北海学園札幌高）が2位と上位を席巻。スーパー大回転で渡邊久瑠美（経済2・新発田商高）が5位、回転でも木田が7位と好成績を残した。男子ではスーパー大回転で高澤伸（経営3・歌志内高）が2位と上位に食い込んだ。

小野塚は「1位という結果が出て素直にうれしい。コース状況も体調も良く、今持っているベストの力が出せた」と力強く語った。

クロスカントリー種目では男子4×10㌔リレーで松岡琢磨（法1・花輪高）・望月崇之（経営1・八海高）・栗山雄大（経営1・白馬高）・河野伸太郎（文1・加計高）の1年次生チームが2位と活躍。栗山はスプリント1・4㌔フリーでも4位に入る健闘を見せた。女子ではスプリント1・4㌔フリーで大丸夏希（商3・東奥義塾高）が6位となった。

（小林　玲奈・商1）

▲　クロスカントリー男子リレーで２位と健闘した１年次生チーム

女子大回転で小野塚、木田が1、2フィニッシュ

全日本学生アルペンチャンピオン大会

女子大回転で木田1位

全日本学生アルペンチャンピオン大会が1月3日から9日まで、長野県の志賀高原スキー場で行われ、女子大回転第2戦で木田が1位となった。また、同第1戦では木田が3位、渡邊が4位、小野塚が7位と好成績が続いた。女子回転では丸子山里香（経営3・北照高）の4位が最高だった。

開催地の長野県は大会前に大雪が降り、コースの状態が決して良くない中で結果を残した木田は「厳しい状況の中で1位になれて良かった」と話した。（小林）

各地のスキー大会でアルペン勢が好成績

各地で行われたアルペンの大会にスキー部員がエントリーし、好成績を残している。

1月23、24の両日、北海道小樽市で行われた朝里川温泉スラローム競技会では高澤伸が第1戦で3位、第2戦で2位と上位につけた。

また1月27、28の両日、長野県茅野市で行われた車山高原カップでは、清水香帆（法2・飯山南高）が女子回転の第2戦で1位。男子では宮本浩光（法1・飯山南高）が第1、2戦とも3位と健闘した。（山中　克浩・経済2）